

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の開催については予定通り実施できた。しかし、保護者懇談会などは、制限がある中での開催となった。</li> <li>・コロナ禍で今後、どのように学校の情報を発信するか、どのように保護者・地域のニーズを収集していくのか、などを検討していく。</li> </ul>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価の結果を教職員はもちろん、学校運営協議会委員とも共有し、引き続き保護者や地域の実態やニーズの把握を行っていく。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営委員会では、丁寧に説明され理解できた。</li> <li>・地域住民が、学校教育に関心を持ってもらうためにも、学校と地域がつながるような踏み込んだ対策が必要である。例えば学校、保護者、子ども、地域が一堂に集まって大小のイベントなど催す機会を作るなど。</li> <li>・コロナ禍は、地域と連携し学校の教育目標、方針に基づき取り組んでいることと思うが、この状況下特に保護者とのコミュニケーションが求められると思う。</li> <li>・学校として地域の声を聴く努力の成果が、高い評価として表れている。</li> <li>・運営協議を通じて地域の声を出しているので、改善点などに向けて進捗具合等を開示してもらえるとよい。</li> </ul>
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。		

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会や保護者懇談会、学校だよりなどを活用し周知を図ってきた。</li> <li>・児童の結果を見ると②や③の回答も見られる。指導の徹底を図りたい。</li> </ul>
	児童	私は、学校教育目標を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では、今後も朝会での校長講話や各クラスでの学級活動など日々の指導を通して、学校教育目標の周知徹底そして、目標の達成を目指していく。</li> <li>・学校運営協議会や保護者懇談会などの場を活用し周知を図るとともに、更には学校のホームページを活用するなど工夫して周知していく。</li> </ul>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを見ると状況が分かりやすくよい。</li> <li>・学校の教育活動について、一般住民にも共有できる伝達方法が必要である。</li> <li>・ホームページ、杉の子、応援団だより等により、学校教育目標、方針について把握、理解できる。</li> <li>・自治会を通して学校だより、応援団だよりが配布され、学校目標や方針等について理解できる。</li> <li>・情報弱者に配慮しつつ、タブレットなどインターネット端末を通じた発信もよいのではないかと。</li> </ul>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <caption>教職員評価結果</caption> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>48%</td></tr> <tr><td>②</td><td>40%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>8%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	48%	②	40%	③	4%	④	8%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に比べ教職員、児童ともに①の割合が増えている。</li> <li>・今年度はICT（タブレットなど）を活用した授業展開が多く見られ、児童も分かりやすく、楽しみながら学習に取り組むことができている。</li> <li>・教職員は、児童にとって分かる授業を展開するために、教材研究やワークシート、教具の作成などに日々取り組んでいる。</li> </ul>
	評価項目	割合														
	①	48%														
	②	40%														
③	4%															
④	8%															
⑤	0%															
児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <caption>児童評価結果</caption> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>65%</td></tr> <tr><td>②</td><td>33%</td></tr> <tr><td>③</td><td>1%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	65%	②	33%	③	1%	④	1%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書き計算などの基礎基本的な学習と思考力など高める発展的な学習をバランスよく授業に取り入れることで、児童の総合的な力を身につけていく必要がある。</li> <li>・ICT（タブレットなど）の活用と学び合いの学習をどう授業に組み込んでいくか、今後更に研究を深めていく必要がある。</li> <li>・様々な児童が在籍する中で、個別最適な学習を探っていく。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	65%															
②	33%															
③	1%															
④	1%															
⑤	0%															
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が授業に満足していることが分かる。継続を期待している。更なるICTの活用や研究に賛同する。</li> </ul>													
地域																

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制限のある中ではあったが、今年度は土曜参観を5回（予定）実施した。昨年度に比べ、子どもたちの学習の様子を参観できる機会を多く設定することができた。</li> <li>・全体的には落ち着いて学習しており、多くの児童が集中して授業に取り組んでいる。ただ、集中できない児童に対する指導が不十分な点もある。</li> </ul>
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ終息後には、保護者だけでなく、地域の方々にも来校していただき、子どもたちの活動の様子を身近で参観していただきたい。</li> <li>・集中できない児童については、保護者とのコミュニケーションを密に取りながら、課題解決に取り組んでいく。</li> </ul>
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がよく学習状況を評価しており、学校の取組に満足していることがうかがえる。</li> <li>・授業参観に一般住民が参加できるような開かれた学校であってもよいのではないかと。</li> <li>・学年ごとに多少の差はありますが、概ね落ち着いて学習に取り組んでいる。</li> <li>・授業中は、よく話を聞いているように見受けられる。タブレットなどの端末を通じて一層の理解が進められるのではと思う。</li> </ul>
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ大きな問題行動などは見受けられない。児童は、学校のルールを守り、落ち着いて学校生活を過ごしている。</li> <li>・時々起こる問題行動やいじめ事案に対しては、生徒指導主任を中心に、各学年の担任が協力し、素早い対応を行っている。</li> </ul>
	児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめはどの学校にも起こりうる」との認識のもと常にアンテナを高くし、日々の児童の様子をしっかりと見取ることが大切である。いじめを認知した時には、素早く丁寧な対応を心がける。</li> <li>・児童の評価は昨年度と同様で、悪くないので教職員は自信をもって今後も組織的に根気強く指導をしていく必要がある。</li> </ul>
	保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしい結果と思う。子どもたちとの信頼関係が築かれていることがよく分かる結果である。学力向上の基盤があると思う。いじめの多様性を認識した対応を期待する。</li> </ul>
	地域			

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察										
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>16%</td></tr> <tr><td>②</td><td>68%</td></tr> <tr><td>③</td><td>12%</td></tr> <tr><td>④</td><td>4%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	16%	②	68%	③	12%	④	4%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8割以上の教職員、児童、保護者が「きまりを守って生活できている」との回答である。多くの児童は、落ち着いて学校生活を過ごしている。</li> </ul>
	評価結果	割合												
	①	16%												
	②	68%												
③	12%													
④	4%													
児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>50%</td></tr> <tr><td>②</td><td>43%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	50%	②	43%	③	6%	④	1%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り活動を活かし、高学年がお手本を見せられるような場面を多く設定していく。</li> <li>・できているところをしっかりと認めて褒めて、児童を伸ばしていく。</li> <li>・代表委員会を中心に、児童の自主的な取り組みをさらに活性化していく。</li> <li>・月の目標の徹底を図っていく。</li> </ul>	
評価結果	割合													
①	50%													
②	43%													
③	6%													
④	1%													
保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>33%</td></tr> <tr><td>②</td><td>63%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	33%	②	63%	③	4%	④	1%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識は先生方の指導の賜物と強く思う。きめ細かい指導が行き届いている成果と捉えることができる。</li> <li>・先生方と児童の評価差異はあるが、大半の児童はルール、マナーを守っていると思う。日頃より指導のことと思いますが、個人、団体生活の根気強い指導が必要である。</li> <li>・ルールや決まりを守らせるだけでなく、なぜルールや決まりが大切で、それを守ることでよりよい学校生活を送っていける。お互いを認め合い考えることが子どもの成長につながる。</li> <li>・多くの児童がきまりを守っている。あいさつなど日常生活におけるコミュニケーションを通じて向上を図っていけるのではと思う。</li> </ul>	
評価結果	割合													
①	33%													
②	63%													
③	4%													
④	1%													
地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>26%</td></tr> <tr><td>②</td><td>48%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>22%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	26%	②	48%	③	4%	④	22%		
評価結果	割合													
①	26%													
②	48%													
③	4%													
④	22%													

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>16%</td></tr> <tr><td>②</td><td>36%</td></tr> <tr><td>③</td><td>44%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>4%</td></tr> </table>	項目	割合	①	16%	②	36%	③	44%	④	0%	⑤	4%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつについては、毎年課題となっている。コロナの影響もあり、全体的にあいさつに元気がない。今後も工夫して指導していく。</li> <li>・代表委員会を中心にあいさつ運動を定期的に行っており、年度当初に比べ元気にあいさつできる児童が増えている。</li> </ul>
	項目	割合														
	①	16%														
	②	36%														
③	44%															
④	0%															
⑤	4%															
児童	私は、すすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>48%</td></tr> <tr><td>②</td><td>38%</td></tr> <tr><td>③</td><td>11%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	48%	②	38%	③	11%	④	0%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続的に取り組みを実施していく。</li> <li>・児童とともに、教職員も意識してあいさつをしていく。</li> <li>・校内でのあいさつは、だんだんよくなってきているので、さらに向上させるとともに家庭や地域でのあいさつの指導にも力を入れて指導していく。</li> </ul>	
項目	割合															
①	48%															
②	38%															
③	11%															
④	0%															
⑤	0%															
保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>11%</td></tr> <tr><td>②</td><td>49%</td></tr> <tr><td>③</td><td>33%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	11%	②	49%	③	33%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内でのあいさつは良好であるが、校外（下校時）では、ごく一部の児童のみである。低学年は、元気なあいさつが聞かれる。</li> <li>・マスク生活の影響によるものもあるため、声に出すあいさつ、視線を合わすあいさつ、会釈をするあいさつなど、あいさつ（コミュニケーション）のあり方や方法も伝えていけるとよい。</li> <li>・あいさつ運動を完成させるには、家庭や地域の大人たちが率先してやるべきである。大人ができていないことを子どもに押し付けていないか。もっと大きなあいさつ運動を展開すべきである。</li> <li>・コロナ禍でマスク着用のあいさつにもかかわらず子どもたちは頑張っている。元気な声をきくとうれしくなります。</li> <li>・高学年で思春期のようになってしまう児童もいるように思う。進んであいさつがなくても大人からは継続して行う方がよい。</li> </ul>	
項目	割合															
①	11%															
②	49%															
③	33%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>4%</td></tr> <tr><td>②</td><td>57%</td></tr> <tr><td>③</td><td>17%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>4%</td></tr> </table>	項目	割合	①	4%	②	57%	③	17%	④	0%	⑤	4%		
項目	割合															
①	4%															
②	57%															
③	17%															
④	0%															
⑤	4%															

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安全 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域の方の見守りパトロールが充実しており、児童は安心して登下校できている。そのため、全体的に高い割合となっている。</li> <li>・不審者への対応として、保護者や地域からの不審者情報や市からの不審者情報を随時C4th（メールシステム）を活用し、情報を発信した。</li> </ul>
	児童	安全に、安心して登下校できる。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の講話や安全指導などを通して、登下校時の安全や放課後の不審者への対応について、児童自身が「自分の命は、自分で守る」という意識を育成する。</li> <li>・今後も学校メール（C4th）を活用し、随時不審者情報を発信していく。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による見守り活動は大変充実していると思われる。C4thによる不審者情報の内容については、その都度自治会の定例運営委員会で報告している。</li> <li>・安心安全が第一なのですばらしい。交通安全のみではなく、災害安全、生活安全の評価も今後必要と感じる。</li> <li>・高齢化に伴い減少傾向にあることから、若い方の協力者が求められる。</li> <li>・スクールガードの登下校時の見守り活動の成果が表れている。</li> <li>・危険箇所についての周知、保護者・地域との連携が大切。通学路の改修・改善の働きかけが必要である。①新ローソン⇄東市民センター間②各踏切り等への交通指導員の増員。</li> </ul>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		



杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>72%</td></tr> <tr><td>②</td><td>24%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	72%	②	24%	③	4%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に高い割合となっている。</li> <li>・学校応援団コーディネーターを中心に、学校応援団員の皆さんに、学校だよりや学校からのお知らせなどを地域に配布していただいている。</li> <li>・学校メール（C4th）を活用し随時情報発信したり、学校のホームページを定期的に更新したりするなど、積極的に情報を発信してきた効果と考えられる。</li> </ul>
	評価項目	割合														
	①	72%														
	②	24%														
③	4%															
④	0%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの活用とともに、地域の回覧を活用する。</li> <li>・学校ホームページの更なる改善、活用を進めるとともに、C4th（メールシステム）による積極的な情報発信も行っていく。</li> </ul>													
保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>36%</td></tr> <tr><td>②</td><td>56%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	36%	②	56%	③	6%	④	2%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C4thによる情報発信はタイムリーなもので状況が見え効果的である。</li> <li>・ホームページが以前に比べても充実してすばらしい。情報発信の時代なので、更なる充実を期待している。子どものや保護者のアクセス頻度、分析などもできるとよい。</li> <li>・各種情報の発信により、学校づくりに努められていると思う。</li> <li>・学校からの情報は自治会回覧で知ることができる。</li> <li>・ホームページ更新、運営協議会などを通じて、そうした姿勢が感じられる。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	36%															
②	56%															
③	6%															
④	2%															
⑤	0%															
地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>35%</td></tr> <tr><td>②</td><td>57%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>4%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	35%	②	57%	③	4%	④	4%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	35%															
②	57%															
③	4%															
④	4%															
⑤	0%															

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>44%</td></tr> <tr><td>②</td><td>52%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>4%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	44%	②	52%	③	0%	④	4%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、地域人材を活用した体験活動に制限があったものの、お茶の学習やミシンの学習、農業体験などの活動を実施することができた。</li> </ul>
	評価結果	割合														
	①	44%														
	②	52%														
③	0%															
④	4%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT環境は充実しているので、リモートでの人材活用の方向性も探っていきたい。</li> <li>・更なる地域人材の発掘とともに、今後も感染予防を徹底しながら、どのような場面で地域人材を活用できるかを探っていく。</li> <li>・学校応援団やPTAと連携を深め学習支援の内容をさらに充実させていく。</li> </ul>													
保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>30%</td></tr> <tr><td>②</td><td>56%</td></tr> <tr><td>③</td><td>11%</td></tr> <tr><td>④</td><td>3%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	30%	②	56%	③	11%	④	3%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT環境の充実により、様々な教育活動が可能になってくると考える。その際、同時配信型の場合は通信容量の負荷等も考慮する必要がある。色々試してほしい。地域の人材活用ができたこともすばらしいと感じる。</li> <li>・地域住民の中に学校教育に協力できる方が多くいると思うので、活用を考えてはどうか。</li> <li>・地域住民の人材活用は子どもたちにとって、大事な時間なので、今後も継続するとよい。地域の人のにとってもプラスになる。</li> <li>・地域住民との交流を通じて、児童が多くのことを学ぶだけでなく、地域の方々の学校へのかかわり方が積極的になることが期待される。</li> </ul>	
評価結果	割合															
①	30%															
②	56%															
③	11%															
④	3%															
⑤	0%															
地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>22%</td></tr> <tr><td>②</td><td>52%</td></tr> <tr><td>③</td><td>13%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>13%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	22%	②	52%	③	13%	④	0%	⑤	13%		
評価結果	割合															
①	22%															
②	52%															
③	13%															
④	0%															
⑤	13%															

杉下小学校

小学校

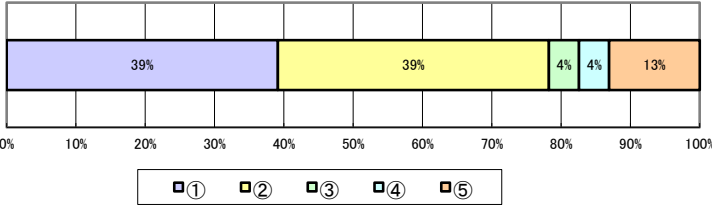
評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れる など、組織的に環境美 化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果 について の分析・ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示委員会を中心に校内の掲示物の充実を図ってきた。季節に合った掲示物を掲示するなどの工夫を行った。</li> <li>・ 児童は週3回の清掃活動を一生懸命に行っている。ただ、児童だけでは、隅々まできれいにすることはなかなか難しい。</li> <li>・ コロナの感染拡大で、年2回のPTA親子除草作業は実施できなかったが、学校応援団コーディネーターを中心に草刈りやトイレ掃除などを実施した。</li> </ul>
	児童	私は学校をきれいに しようと心がけ、清掃 をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決 への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箒の使い方や雑巾のかけ方など、掃除の仕方の指導を根気強く続けていくことが大切である。また、「みんなで使うものを大切に使う」という意識を更に高めていく必要がある。</li> <li>・ 地域の回覧等を活用し、年2回実施している除草作業への参加率を高めていく。</li> </ul>
	保護者	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係 者評価委</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ねよい評価であり、学習環境が整っていることがうかがえる。</li> <li>・ 児童の環境美化活動に努められていることが理解できる。親子のつながり、ボランティア参画意識の向上につながると思う。</li> <li>・ 環境美化活動を重視していることが、高い評価として表れている。</li> <li>・ PTAによる花壇管理やタイルの張替えなど、学校を中心にうまく活動できている。地域の方々によ</li> </ul>

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
	地域	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めている。	 <p>A horizontal stacked bar chart showing the distribution of responses for the question 'School is making efforts in cleaning activities and environmental beautification'. The x-axis represents the percentage of respondents from 0% to 100% in 10% increments. The bar is divided into five segments representing response categories ① through ⑤. The segments are: ① (blue, 39%), ② (yellow, 39%), ③ (green, 4%), ④ (cyan, 4%), and ⑤ (orange, 13%). A legend below the chart identifies the categories with colored squares: ① (blue), ② (yellow), ③ (green), ④ (cyan), and ⑤ (orange).</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価結果</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>13%</td> </tr> </tbody> </table>	評価結果	割合	①	39%	②	39%	③	4%	④	4%	⑤	13%	<p>員会によるボランティア活動もすばらしい。 る評価</p>
評価結果	割合															
①	39%															
②	39%															
③	4%															
④	4%															
⑤	13%															

杉下小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の仕事が1人に集中し過ぎないように、均等に仕事を配分するようにしている。</li> <li>・担任外の教員やスクールサポートスタッフ、学級運営補助員を活用し、担任に仕事が偏らないようにしている。</li> <li>・書類の電子化が進み、仕事の効率は上がっているものの、教材研究の時間は十分に確保できていない。</li> </ul>
	児童		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市費職員の増員。</li> <li>・地域人材の積極的な活用。</li> </ul>
	保護者		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革を標榜することで8割の教職員が努力できていることは、校長先生をはじめ諸先生方のチーム力だと感じている。</li> <li>・電子化による過渡期であり、大変かと思う。児童と向き合う時間が十分に取れるようになるとうい。</li> <li>・地域からはまだ見えにくい部分である。将来的に先生の職場環境の整備は必要であるが、内容については、弾力性をもってこれまでのよいところがスポイルされないようにするよう留意する必要がある。</li> </ul>
	地域		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	